

道の駅

お肌もおなかも十勝の恵みで満ちてゆく

特集

# 道の駅ガーデンスパ十勝川温泉

惣 万 麻 美



## 1. 町の紹介

音更町は十勝平野のほぼ中央部に位置し、町村の中では全道一の人口を有する活気に満ちたまちです。基幹産業の農業においては、ほぼ平坦な地形や水利、日照時間にも恵まれ、広大で肥沃な土地を生かした大規模土地利用型農業(小麦、豆類、てん菜、馬鈴しょなど)を展開しています。特に小麦については作付面積・収穫量が全国トップクラスとなっています。

観光に関しては、町の南東部に北海道遺産にも選定された「モール温泉」が湧出する十勝川温泉を有しています。植物性の有機物を多く含んだ茶褐色の湯は、保湿成分が豊富でお肌がすべすべになることから「美人の湯」としても評判です。その希少な泉質は日本国内だけでなく、海外の観光客からも支持されています。他にも町内には直径18メートルの花時計「ハナック」や北海道立十勝エコロジーパーク、家畜改良センター十勝牧場の白樺並木などがあり、四季を通して観光客が訪れます。



図-1 音更町位置図

## 2. 道の駅ができるまで

十勝川温泉は2020年(令和2年)に開湯120周年を迎えた十勝を代表する温泉地です。しかし、延



写真-1 道の駅外観

べ宿泊客数は1996年(平成8年)の70万泊をピークに徐々に減少していました。さらに、2009年(平成21年)に温泉街中心部の大型ホテルが廃業し、残された建物が廃墟化するなど観光地としてのイメージダウンが著しく、温泉街は寂れた印象の町並みとなってしまいました。

そのような状況の中、温泉街に賑わいと活力を取り戻すため、十勝川温泉旅館協同組合と音更町が共同で十勝川温泉中心市街地再生事業に取り組みました。事業は2013年度(平成25年度)から5か年かけて実施し、廃墟化したホテルの解体撤去、中心多目的広場「ガーデンスパ十勝川温泉」の整備、周辺緑地や道路の整備などを行いました。

2016年(平成28年)12月に「ガーデンスパ十勝川温泉」が開業してからは、温泉街を散策する観光客が増え、同施設は新たな賑わいを生み出す観光拠点となりました。そこで、さらなる賑わいの創出と地域振興のためにガーデンスパ十勝川温泉を道の駅にしたい、と十勝川温泉旅館協同組合から音更町に提案がありました。そうして再度、両者が協力し、24時間トイレの増設や屋根付き駐車スペースの整備などを行い、2020年(令和2年)7月に北海道で128番目となる道の駅として「道の駅ガーデンスパ十勝川温泉」が誕生しました。

### 3. 道の駅の概要

#### (1) 駅名と由来

「ガーデンSPA十勝川温泉」という名称は建設中に一般公募により決定されました。花が咲き乱れる花壇を思わせる「ガーデン」とモール温泉を中心としたリラクゼーション施設である「SPA」を組み合わせた造語です。応募者の方からは「老若男女誰でも楽しめるような施設になって欲しい」という願いをこめたと聞いています。



図-2 道の駅ロゴマーク

#### (2) 施設の概要

所在地は河東郡音更町十勝川温泉北14丁目1番地、道道73号(帯広浦幌線)沿いで十勝川温泉街の中心部にあります。

道の駅の全体面積は22,318m<sup>2</sup>、建物は木造平屋一部RC造りで、延べ床面積は約1,174m<sup>2</sup>です。建物にはカラマツ材を多用しており、特に「からまつコリドー」は木のぬくもりを感じられる造りになっています。

駐車場は103台(大型車13台、小型車88台、

身障者・妊婦用2台)、トイレは15器(男(小)4器、男(大)2器、女8器、身障者用1器)、その他にも屋内には4つの飲食店やマルシェ、体験工房、SPAがあり、屋外には足湯やイベント広場、ドッグランがあります。指定管理者は施設の所有者でもある十勝川温泉旅館協同組合となっています。

#### (3) 施設の特徴

##### ① SPA

一番の特徴は、モール温泉をみんなで一緒に楽しむことができる「SPA KOHAKU(コハク)」です。水着や無料レンタルの湯あみ着で入浴する温泉のため、家族やカップル、友達同士で楽しめます。また、室内には温泉ジャグジーや温泉ミストサウナ、屋外にはプールがあるので一年中モール温泉を満喫できます。



写真-3 SPA室内



写真-2 からまつコリドー



写真-4 SPA屋外

② 4つの飲食店

道の駅には十勝グルメを堪能できる4つの飲食店があります。

1つ目は「よりみちベーカリー」です。道産食材にこだわった「揚げたてカレーパン」が特に人気で、「十勝和牛」や「十勝の野菜」など数種類の味を楽しむことができます。

2つ目は「木かげのカフェ」です。ソフトクリームなどのスイーツや、十勝ラクレットチーズを使ったメニューまで、豊富なメニューでおなかを満たしてくれます。特に十勝ラクレットチーズを十勝のおい

もといただくのがおすすめです。

3つ目は「テーブル・ベジ」です。ピザとパスタがメインのお店で「マルゲリータ」が一番人気です。また、ハーブ鶏から取った鶏がらがベースのイタリアンラーメンもあり、新感覚のラーメンが楽しめます。

4つ目は「からあげハウス」です。中札内田舎どりのからあげが楽しめるお店です。鶏の半身をまるごと使った半身揚げをはじめ、手羽元、V手羽、砂肝や小肉など多様な部位のからあげの美味しい香りに食欲をそそられます。



写真-5 よりみちベーカリー

写真-6 木かげのカフェ

写真-7 テーブル・ベジ

写真-8 からあげハウス

③ マルシェと体験工房

「ひなたのマルシェ」は十勝の作り手がこだわり尽くした特産品、加工品などを販売しています。季節によっては地元の農家さんが育てた色とりどりの旬の野菜も並びます。中でも女性に特におすすめなのはモール温泉の成分を配合した「モール温泉マスク」や「温泉ハンドクリーム」などのオリジナル商品で

す。美人の湯の効果をご自宅でもお楽しみいただけます。

また、体験工房では各種体験プログラムをご用意しています。アイスクリーム、寄せ豆腐、モッツァレラチーズ、カッターチーズなど、ご自分で作れば美味しさも倍増です。



写真-9 ひなたのマルシェ



写真-10 モール温泉マスク

#### ④足湯とドッグラン

屋外のテラスには「そらの足湯」があります。無料で利用できるのので、コーヒーを飲みながらリラックスされる方、のんびり青空を眺める方など、お客様は思い思いに過ごされています。また、タオルを購入できるので、ドライブの途中でも気軽に利用することができます。



写真-11 そらの足湯

2022年(令和4年)5月には「いぬのあし湯ドッグラン」がグランドオープンする予定です。敷地の一部をドッグランスペースに改修し、その中に犬専用の足湯を設置した日本唯一の道の駅ドッグランです。2021年(令和3年)秋のプレオープン時には足湯を堪能するわんちゃんもいて、今、愛犬家注目のスポットです。



写真-12 ドッグランの犬専用足湯

#### 4. 今後の展望

道の駅ガーデンスパ十勝川温泉ではこれまでも各テナントと協力し、季節ごとのイベントを開催するなど、お客様に癒やしと食を提供してきました。これからも創意工夫を続け、よりご満足いただける道の駅を目指していきます。

また、2020年(令和2年)10月、道東自動車道に十勝川温泉の最寄りとなる(仮称)長流枝スマートインターチェンジの整備が許可されたため、数年後には全道からのアクセスの向上が見込まれています。

さらに、音更町にはもう一つ道の駅があります。「道の駅おとふけ(愛称：なつぞらのふる里)」は2022年(令和4年)4月に道東自動車道音更帯広インターチェンジ南側に移転オープンし、道東及び十勝の玄関口として十勝・音更町の農畜産品、特産品をはじめ、文化、風景など地域固有の魅力を発信する施設として生まれ変わる予定です。

今後も2つの道の駅が連携し、さらなる地域の活性化につなげていければと思います。

惣万麻美(そうまん あさみ)

音更町経済部商工観光課観光係長

